

チャレンジ

挑戦



アンダー100くまの

労働災害 100人未満を目指して！ 熊野労働基準監督署

「挑戦（チャレンジ）アンダー100くまの」について

1. 「挑戦（チャレンジ）アンダー2,000みえ」について

県内の休業4日以上死傷者数は、昭和55年（1980年）の7,726人をピークに着実に減少し、平成12年（2000年）には3,000人を下回りました。しかし、その後、平成29年までの18年間2,000人を下回ることができず、三重労働局第13次労働災害防止計画（平成30年度～34年度）では、計画期間中の早い時期に「アンダー2000」を達成することを目標としました。

労働災害の増加に歯止めをかけ、平成31年中に死傷者数2,000人未満を達成するため、『チャレンジ アンダー2,000みえ』推進運動を県内で展開しています。

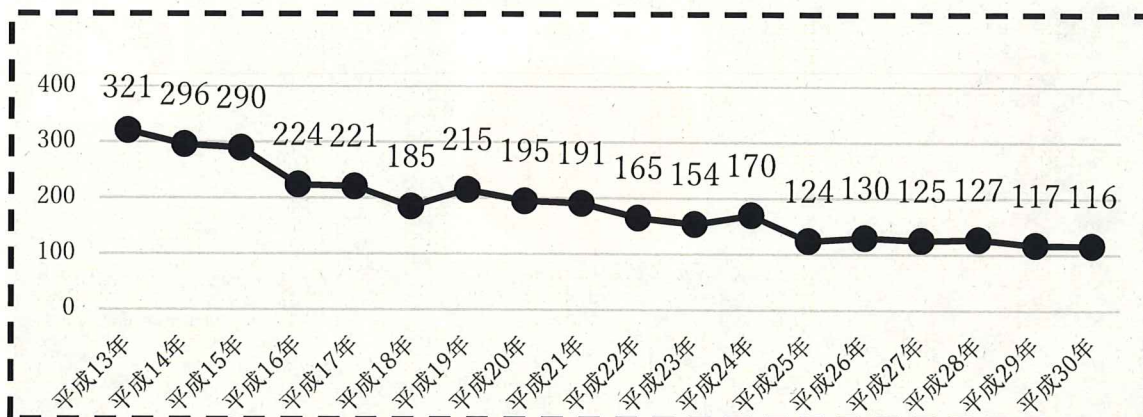
2. 「挑戦（チャレンジ）アンダー100くまの」について

熊野労働基準監督署管内を見ると、平成13年の監督署管轄変更以降、平成13年の321人から着実に減少し、昨年（平成30年）には116人まで減少しました。

熊野労働基準監督署においては、三重労働局が実施する「チャレンジ アンダー2,000みえ推進運動」と連動し、「推進大会」や「推進トライアル」に管内事業場の皆様に広く参加いただきながら、管内の労働者皆さん、事業場の皆さん、災害防止団体の皆さんと一体となって、「あってはならない死亡災害ゼロ、休業4日以上死傷災害100人未満を目指します。

また、特に労働災害が多い、林業及び水産業については、署として独自の運動を展開します。

熊野労働基準監督署管内の労働災害の推移（休業4日以上死傷者数）



PR「チャレンジ アンダー2,000みえ」推進運動

- 三重労働局ホームページ (<https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyok/>) に特設コーナーを設けて労働災害防止に役立つ情報を毎月掲載します。
- 令和元年7月2日（火）に、安全管理者等実務担当者を対象に『チャレンジ アンダー2,000みえ』推進大会を、労働災害防止等団体の共催で開催します。
【日時・会場】令和元年7月2日（火）午後1時から
三重県総合文化センター フレンテみえ
【講演項目】
 - ① 高年齢労働者に係る労働災害防止対策について
中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター 各務博幸氏
 - ② JISQ45001 と JISQ45100 の導入と実践について
NTN 株式会社桑名製作所 管理部 安全・環境管理課長 伊藤晃幸氏
 - ③ 安全衛生活動の一段レベルアップによる労働災害防止の目標の達成と継続
山田労働安全衛生コンサルタント事務所 山田善久氏
- 一定期間の無災害を目指して、平成31年（度）年間安全衛生管理計画を策定・運用する事業場が参加する『チャレンジ アンダー2,000みえ』推進トライアルを実施します。詳しい募集要項はホームページ、チラシでご案内します。

問い合わせ 熊野労働基準監督署

〒519-4324 熊野市井戸町672-3

電話 0597-85-2277